

希望の光が溢れる

成長の年へ。

今年は午年。物価高を乗り越え、日本経済を駿馬の如き勢いで力強く前に進め、成長軌道に乗せるべく、財務副大臣の職責を全うしてまいります。本年もよろしくお願ひいたします。



中谷真一

財務副大臣
衆議院議員

財務副大臣として成立に尽力

不安を希望に変える補正予算の3つの柱

減税・物価高対策

1

物価高への対応として、ガソリン・軽油の暫定税率廃止や基礎控除の引き上げによる所得税減税、電気ガス代への補助、重点支援地方交付金、児童手当の2万円上乗せなど、総額8.9兆円。

将来への投資

2

将来の日本経済を牽引する成長分野（AI、半導体、造船、宇宙など）へ投資。また、大規模災害などに備えるための危機管理分野（国土強靭化、食料、エネルギー）へ投資。総額6.4兆円。

防衛・外交の強化

3

厳しさを増す国際情勢を踏まえ自衛官の待遇改善や装備品の取得前倒し、ドローンへの対処機材整備などを進め防衛力を抜本的に強化。外交ではトランプ関税への対応など。総額1.7兆円。

Column 財政は大丈夫？

今年度の本予算と補正予算を合わせた新規国債の発行額は昨年より低くなっています。また、高市内閣は責任ある積極財政の考えの下、経済成長により「税率を上げない税収増」を実現し、財政の持続性を確保します。財務副大臣として、財政に目を光らせつつ、高市政権の経済政策を全力で後押しします。

財務副大臣公務



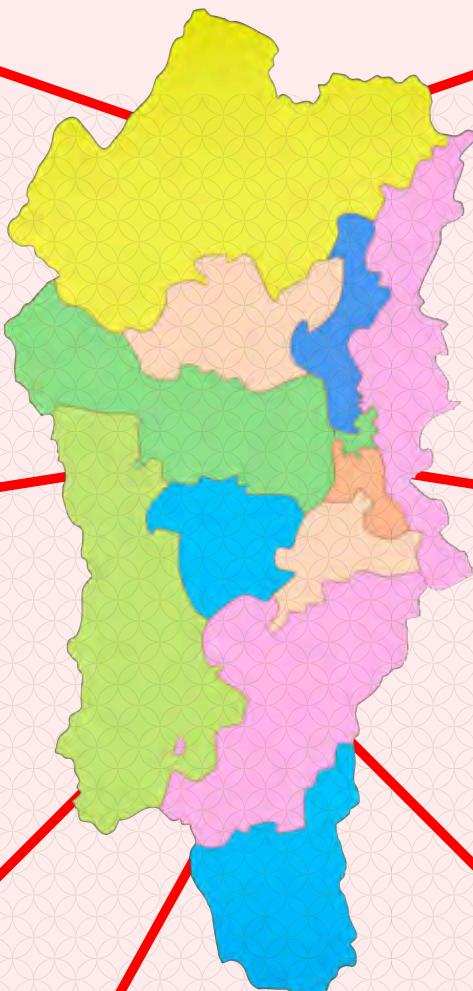
地元政策レポート

地盤、カバン、看板、何もなかった私がここまで活動できたのは、地元の皆さんのご支援のおかげです。だからこそ、地元山梨を良くすることは私の責務だと考え、現在も取り組んでいる地元政策の一端をご紹介します。

中部横断道北部区間

中部横断道北部区間は、茂木幹事長（当時）をお呼びしての現地視察などを行い、地元の皆さんと早期整備へ働きかけています。峠北地域のみならず沿線地域全体への経済効果や地域の緊急輸送路としての機能などが期待できるため、全力を尽くします。

山梨1区



国道20号の4車線化

地域の大動脈国道20号は韮崎市付近で車線が減り、朝夕の通勤時間帯で慢性的な渋滞が発生しています。大手半導体関連企業も立地し毎日約1万人が通う同地域の利便性向上は県内経済へ大きな利益があることから、早期の4車線化へ働きかけます。

農業振興

当時、農水副大臣だった現鈴木農水大臣を北杜市にお呼びして、現場の課題を見ていただくなど、生産者の声を活かした農業振興に取り組んでいます。食料自給率を向上し、国民の食の安全を守るためにも引き続き取り組んでまいります。

富士川水系横川水害対策

南アルプス市を流れる横川は周辺の川と合流する地点で度々氾濫し、地域の皆さんの大変な懸案となっていました。地域の皆さんと粘り強く働きかけ、対策に必要な予算をとることができました。県民の命と暮らしを守るため、必要な河川改修を進めます。

地元活動



新山梨環状道路北部区間

新山梨環状道路北部区間は地域の皆様のご支援もあり、令和6年に桜井～塚原間の事業化が決定、広瀬～桜井間では本年2月に着工するなど大きく前進しています。山梨県の発展に資する環状道路の早期整備に向け、引き続き働きかけていきます。

産官学金の連携強化

山梨大学で地方創生を目指した産官学金の連携強化を推進しています。山梨県に若者を増やすには、企業、自治体、金融機関、そして大学が協力して若者にとって魅力的なキャリアを示すことが重要です。活気ある山梨のため、引き続き取り組みます。

企業誘致の推進

写真の六郷IC周辺など県内各地への企業誘致を積極的に行っています。魅力的な仕事がなければ、若者の流出は止まりません。皆様のご支援のおかげで得ることができた国との強いパイプを活かして、地域の雇用創出や発展に全力で取り組みます。

プロフィール

1976年 9月30日生まれ
1995年 甲府第一高校 卒業
2000年 防衛大学校 卒業
陸上自衛官（第一空挺団）
2012年 衆議院議員初当選（5期）
2019年 外務大臣政務官
2021年 経済産業副大臣
2025年 財務副大臣

